

平成29年度第1回 埼玉中部資源循環組合
ごみ処理施設等建設検討委員会 会議録

担当 埼玉中部資源循環組合施設課

会議の名称	平成29年度第1回埼玉中部資源循環組合 ごみ処理施設等建設検討委員会
開催日	平成29年4月27日(木)
開催時間	午後1時50分開会 ・ 午後2時53分閉会
開催場所	吉見町福祉会館2階会議室
議長氏名	岩崎 勤
出席者氏名 (出席者数)	建設検討委員会出席名簿のとおり(14名)
欠席者氏名 (欠席者数)	田島實(1名)
オブザーバー氏名	(一財)日本環境衛生センター 速水草一、池本久利
事務局職員氏名	根岸正己、牧嶋淳一、朝香学、久保島賢、吉田駿一郎
その他出席者	パシフィックコンサルタンツ(株) 中尾剛、山崎貴裕
議事の記録方法	要点筆記
会議の内容	<p>(挨拶)</p> <p>岩崎委員長</p> <p>(協議事項)</p> <p>平成29年度第1回埼玉中部資源循環組合ごみ処理施設等建設検討委員会次第のとおり</p>
	<p>(協議結果)</p> <p>規程第5条の規定に基づき、次の2名をオブザーバーとして委嘱した。 一般財団法人日本環境衛生センター 速水草一、池本久利</p> <p>(1) 諮問 新井管理者公務のため欠席、代理として根岸事務局長から岩崎委員長へ諮問書を手渡し受理した。</p> <p>(2) 建設検討委員会の役割及び会議の進め方について 事業方式決定手順について確認した。</p> <p>(3) 事業方式について PFI導入可能性調査報告書を確認した。</p> <p>その他 PFI勉強会、先進地視察の開催について確認。日程は改めて調整する。</p>

議事の要旨

司会(事務局)	1 開会 (午後1時50分)
岩崎委員長	2 あいさつ あいさつ
岩崎委員長	3 協議事項 協議事項に入る前に、委員会規程第5条の規定に基づき、オブザーバーを委嘱したいがいかがか。 オブザーバーとして(一財)日本環境衛生センター 速水章一、池本久利を推薦する。 上記の者にオブザーバーを委嘱することはいかがか。 (一同、賛成)
根岸事務局長	オブザーバーの委嘱状を交付
事務局	(1) 諮問 新井管理者は公務のため欠席。代理で根岸事務局長から岩崎委員長へ諮問書をお渡ししていただきたい。
根岸事務局長	諮問書の交付
岩崎委員長	諮問書の受理
事務局	(2) 建設検討委員会の役割及び会議の進め方について 資料に基づき説明。
議長	事務局の説明に対して委員の皆様から意見をいただきたい。 (特になし)
	(3) 事業方式について

事務局	資料に基づき説明。
委員 A	V F M算定の前提条件について、 <ul style="list-style-type: none"> ・運営・維持管理費 ・コンサルタント委託費 が公設公営方式、D B O方式、B T O方式で差が出る理由はなにか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・運営・維持管理費について D B O方式では民間事業者に一括委託契約するので、単年度契約の公設公営方式より諸経費等の負担軽減が出来る。 人件費について、単価が公営より民間の方が安い。 <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタント委託費について 他事例を基に算出している。公設公営方式とD B O方式で委託業務の内容・手順が異なる。D B O方式は手続きが複雑であるためコンサルタント委託費が高くなる。
議長	各方式の導入割合はどの程度か。
事務局	P F I 導入可能性調査報告書より、平成 2 7 年度末時点で 公設公営方式は従来から採用されてきた方式なので事例多数。 D B O方式は 7 2 事例。 B T O方式を含む P F I 方式は 1 7 事例。 最近の導入事例としては、D B O方式を採用された事例が最も多くなっている。
事務局	4 その他 先進地視察について、 <ul style="list-style-type: none"> ・近郊のごみ処理施設の事業方式が公設公営の他はD B O方式しかないこと ・施設設備視察で事業方式の理解が深められるか 以上の点を踏まえて先進地視察実施が必要か意見をいただきたい。
委員 B	焼却の処理方式と事業方式は関連があるのか。
事務局	処理方式と事業方式とは別の検討である。
委員 C	新しい吉見町長のごみ処理施設建設の方針として「住民の意見を

	<p>聞きながら事業を進める」とある。住民の意見を聞くことによる新たな費用・期間がかかると懸念している。現委員長をはじめ事務局にはこれまで通りに事業が進むようお願いする。</p>
議長	<p>管理者の変更で事業の方向性が大きく変わることはない。</p>
事務局	<p>新しい管理者へこれまでの経緯を説明する場を早急に用意する。そのうえで、事業への理解と重要性を認識してもらう。</p>
事務局	<p>P F I 勉強会、先進地視察について意見をいただきたい。</p>
委員B	<p>事業方式の検討をするうえで先進施設を実際に見て理解を深めたい。P F I 勉強会、先進地視察は共に実施するべき。</p>
議長	<p>P F I 勉強会、先進地視察は共に実施する方向で事務局は調整をすること。先進地視察の際には、プール等の付属施設の視察と、運営に係る説明を聞けるようにしてほしい。</p>
事務局	<p>趣旨に沿った実施を検討する。日程については改めて調整する。</p>
	<p>5 閉会</p> <p style="text-align: right;">(午後 2 時 5 3 分終了)</p>